

## パラレルプロセッシング方式(インバータ並列処理方式) 無停電電源装置 山洋電気(株)製

パラレルプロセッシング方式(インバータ並列処理方式)とは、インバータを常に並列状態で運転し、電力波形を高速で補正処理する方式です。一般的な常時インバータ方式のUPSは直流変換後、インバータで交流を作り直す(直列処理)方式のため一定の損失発生が避けられませんが、Parallel Processing UPSはインバータで並列処理をする方式のため損失が極めて少ない特徴があります(98%の高効率UPS)。電力品質は常に並列状態で運転しているインバータ処理によって高品質に保たれます(無瞬断でノイズ通過なし)。一般的な常時商用方式UPSとは「似て非なる方式」です。突入電流や瞬間的な過負荷に強い変圧器やモータなど誘導負荷にも耐えられる特徴もあります。

本方式はLSI技術の進歩により2002年に製品化され、国内外の情報処理装置・半導体処理装置用として数百台を越える運転実績(20kva~300kva)があります。この実績から常時インバータ方式に比べ同等以上の給電の信頼性が確認されています。更なる信頼性向上のために個別制御による並列冗長構成での運転実績もあります。容量の増大は並列運転により可能です。

電力ロス的大幅削減=CO2の削減でチャレンジ25に貢献すると同時に、電力料金的大幅低減ができる全体最適の高効率・高信頼UPSです。

技術的な説明は次をクリックしてください。

- ・[常時インバータ方式とパラレルプロセッシング方式の比較\[PDF:275KB\]](#)
- ・[常時インバータ方式とインバータ並列処理方式のノイズ比較\[PDF:243KB\]](#)
- ・[Comparison of the Parallel processing UPS vs. the Double conversion On-line UPS. \[PDF:149KB\]](#)

### 【1】SANUPS E23A

インバータ並列処理方式=パラレルプロセッシング方式

(Parallel Processing方式)の完全無瞬断UPS

高効率・高信頼の次世代UPS。情報通信から精密機械まで使用可能

並列冗長運転も可能

入出力 三相3線 AC200V 容量20kVA-200kVA

運転効率97%

### 【2】SANUPS E33A

インバータ並列処理方式=パラレルプロセッシング方式

(Parallel Processing方式)の完全無瞬断UPS

高効率・高信頼の次世代UPS 情報通信から精密機械まで使用可能

個別制御方式による並列冗長運転のため信頼性が高い

海外で使用可

入出力 三相3線/三相4線 380V,400V,415V,420V 容量100kVA-300kVA

運転効率 98%